



日本上座仏教修道会

祝 朗 報

ミャンマー国より シェーダゴンパゴダ形仏塔 日本上陸
～ シェーダゴンパゴダ形仏塔・法隆寺形五重塔 両塔建立を目指して～



仏暦 2565 年令和 3 年 (2021 年) 12 月 6 日 (月)、日本浄心庵「シーマー (戒壇)・シェーダゴンパゴダ形仏塔」は、無事に日本上陸いたしました。三宝と大長老をはじめとして、ミャンマー人・日本人の関係があるすべての皆さまのお力添えのおかげと謹んで感謝申し上げます。皆さまの功德に随喜申し上げます。令和 4 年内には、新・浄心庵戒壇屋上に、ミャンマーで制作されたシェーダゴンパゴダ形仏塔と日本で制作された法隆寺形五重塔の両塔建立の実現を目指しております。三宝と大長老の徳とご恩を念じて、プロジェクトチームが一丸となって最善を尽くしてまいります。

シーマー (戒壇)

「シーマー」とは、パーリ言葉で、「戒壇 (授具足戒の場)」と日本語で訳されています。

比丘サンガが戒律の確認を行う聖なる特別な場所のことです。このシーマー (戒壇) が在れば、お釈迦さまの教えを伝える比丘サンガのための比丘出家儀式、新月・満月のウボサタの日に戒清浄になるための戒律の儀式、「カティナ・シーワラ」という特別な衣の儀式など、戒律に関する儀式を行うことができます。これらの儀式のために、このシーマー (戒壇) は必要とされます。

このように「シーマー (戒壇)」とは、比丘サンガが存在するために最も重要な場所であり、特別な聖地なのです。比丘サンガが存在すれば、お釈迦さまの教えを伝えることができます。

三宝、比丘サンガが存在するための「シーマー (戒壇)」についての功德は、輪廻解脱、涅槃に至るまで善い結果をもたらします。

仏塔建立 について

「仏塔」とは、お釈迦さまの仏舍利やお釈迦さまに関係がある物を奉安するとても大切な「塔」です。浄心庵シーマー (戒壇) の土地の上に、平面 10.5×19m の 2 階建と屋上を建設いたします。1 階は、比丘サンガの居室、瞑想者宿泊施設、多目的ホールとして、2 階は、瞑想堂として浄心庵仏像が奉安され、その後部スペースには、三宝をはじめ上座仏教に関する博物館が設けられます。屋上は、中心部にミャンマー式シェーダゴンパゴダ形仏塔を大切に安置します。北側中央部は、日本式仏塔として五重塔を安置する予定です。この 2 つの仏塔は、ミャンマーと日本両国の仏教友好交流を深め合い、両国の幸福と世界平和への礎として、日本の地に純粋なお釈迦さまの教えが広く永く存在するためのものです。

このような比丘サンガの戒・定・慧のエネルギーによって、特別な土地となったシーマー (戒壇) の上に仏塔を建てる機会を得ることは、日本では極めて稀なことであり、大変幸福なことでもあります。

この建物は、お釈迦さま、お釈迦さまの説かれた教え、そしてお釈迦さまの弟子である比丘サンガに関係がある特別な「シーマー (戒壇)・仏塔」なので、特別な功德、波羅蜜を積むことができます。

今世、今現在も、来世、未来までも、必ず善い結果をもたらします。そして純粋なお釈迦さまの教えが永く存在することができます。

この建物の中で、お釈迦さまの教えを修道する見習出家、比丘出家、正学女、尼僧、男性瞑想者、女性瞑想者たちは、輪廻解脱、涅槃へ至る八正道 (戒・定・慧) を実践することができます。

ですから、この特別な「シーマー (戒壇)・仏塔建立」は、大变得難く特別な功德、波羅蜜なのです。

「シーマー (戒壇)・仏塔建立」のための特別な功德としてお布施を希望される方は、当会のホームページのトップページ 浄心庵「シーマー (戒壇)・仏塔建立」お布施のご案内をご参照ください。

Vihāra dānaṃ saṅghassa aggaṃ buddhena vaṇṇitaṃ

お釈迦さまの教えを伝える土地・建物を比丘サンガを目指して布施することは、
最も高貴な功德として ブッダによって称賛されました

祝 朗 報

ミャンマー国より「シェーダゴンパゴダ形仏塔」出航 海上輸送 日本上陸 (当会/浄心庵 FB 公開中)



2021 年 12 月 6 日 (月) 午後 10 時、横浜港において、浄心庵戒壇屋上に奉納御安置される「シェーダゴンパゴダ形仏塔」は、三宝と大導師バツダン・タニャーヌッタラ大長老をはじめとする、ミャンマー人・日本人、当会会員、関係者の皆さまの多大なるご尽力によって無事にミャンマーから日本に上陸いたしました。

三宝と大長老をはじめ、ご尽力いただきました皆さまに心から感謝申し上げます。皆さまの得難い功德に随喜申し上げます。

ここに至るまでの経緯について、以下にご報告させていただきます。

～ 日本国へ 国際海上輸送 準備 ～



2021 年 4 月 30 日 (金) ～ 5 月 1 日 (土)、大導師バツダン・タニャーヌッタラ大長老が僧院長を務めておられるミャンマー・マハーアウンミエ僧院において、5 月にシェーダゴンパゴダ形仏塔を日本国へ国際海上輸送するために、大長老の比丘サンガのお弟子様をはじめ、在家信者の皆さま

によって、諸々の打ち合わせや、仏塔磨き、清掃、分解、梱包作業など特別な功德行として丁寧に行われました。しかしながら、当初の予定は急遽見合わせとなりました。

～ ヤンゴン港へ ～



2021 年 11 月 1 日 (月)、シェーダゴンパゴダ形仏塔は、再び国際海上輸送の許可を得て、大長老のミャンマー僧院の比丘サンガの皆さまをはじめ関係者の皆さまによって、コンテナにお納めして、僧院からヤンゴン港へ奉送されました。

～ ミャンマー国から日本国へ ～

 Transshipment Time — days	Cargo Nature	CY Cutoff	ETD	ETA	POL/POD	Vessel/Voyage/Service	Haulage	
							Origin	Destination
		2021-11-02 12:00	2021-11-02 Tue 20:00	2021-11-06 12:00	Yangon ▶ Singapore	CTP FORTUNE 2305 SYM1	CY/Door	CY
—	—		2021-11-13 Sat 15:00	2021-11-29 22:00	Singapore ▶ Yokohama	MIA SCHULTE 02/21/23 JSM	—	—



2021 年 11 月 5 日 (金)、シェーダゴンパゴダ形仏塔は、ヤンゴン港を出港し、シンガポールを経由して、11 月 29 日 (月) 午後 10 時に日本国横浜港に入港する予定でしたが、一週間延期となりました。

～ 日本上陸 ～

2021 年 12 月 6 日 (月) 午後 10 時、シェーダゴンパゴダ形仏塔は、ミャンマー・日本の三宝を信じる皆さまの功德・波羅蜜の力によって、無事に日本上陸いたしました。

祝 朗 報

浄心庵戒壇「シェーダゴンパゴダ形仏塔」ご到着
お釈迦さまの徳と恩を念じて 御奉迎 (当会/浄心庵 FB 公開中)



2021年12月23日(木)午前7時30分～午後7時、浄心庵精舎に於いて、大長老のお導きにより、お釈迦さまの徳と恩を念じて、シェーダゴンパゴダ形仏塔のご奉迎儀式が順次執り行われました。

一. 御奉迎前の儀式



午前7時30分、浄心庵戒壇正面において、シェーダゴンパゴダ形仏塔がご到着前に、大長老のお導きに従って、浄心庵戒壇の土地・建物を護られている神々・梵天へ報せ、屋上にご安置するために吉祥になるように、お釈迦さまの徳と恩を念じて御奉迎前の儀式が執り行われました。

二. 御奉迎の儀式



午前8時、シェーダゴンパゴダ形仏塔は、予定通り浄心庵精舎に到着しました。大長老のご先導で、ブッダの九徳・ダンマの六徳・サンガの九徳を念誦しながら、吉祥なる護経の聖水(Paritta)・仏教旗などでご奉迎の儀式が執り行われ、ご安置場所まで巡拝しました。



11個の木箱に分けられたシェーダゴンパゴダ形仏塔は、横浜港から早朝5時に出発し、大型トラック10トンと3トンユニック車の2台でピストン輸送されました。
浄心庵精舎から5分くらいの運送会社の敷地をお借りして、10トン車を駐車し、3トンユニック車に積み替えて、3度の往復で、無事に奉送されました。



午前11時40分、シェーダゴンパゴダ形仏塔は、すべて所定地に一時ご安置されました。

三. ご来庵のお祝い儀式



午後2時30分、大長老のご先導で、ミャンマーから日本浄心庵精舎へのご来庵のお祝い儀式が執り行われました。その後、大長老は、護経の聖水(Paritta)をシェーダゴンパゴダ形仏塔にかけられました。

～ 最重要塔頂部 開梱 ～

